

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年1月31日

上場会社名 株式会社日本エム・ディ・エム 上場取引所 東  
 コード番号 7600 URL <http://www.jmdm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大川 正男  
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 棟近 信司 (TEL) 03-3341-6705  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	15,624	11.8	1,510	△24.1	1,543	△21.1	1,138	△30.3
2022年3月期第3四半期	13,978	13.6	1,991	26.9	1,954	27.1	1,634	60.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,972百万円(△0.2%) 2022年3月期第3四半期 1,975百万円(183.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	43.20	—
2022年3月期第3四半期	61.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	28,577	23,054	80.2
2022年3月期	27,342	21,491	78.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 22,926百万円 2022年3月期 21,386百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,800	13.6	2,000	△24.9	2,050	△20.9	1,450	△32.1	54.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 ー社(社名)ー 、除外 ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	26,475,880株	2022年3月期	26,475,880株
2023年3月期3Q	175,107株	2022年3月期	92,179株
2023年3月期3Q	26,367,107株	2022年3月期3Q	26,383,769株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
3. その他	8
販売実績	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は15,624百万円（前年同四半期比1,646百万円増、同11.8%増）、営業利益1,510百万円（前年同四半期比480百万円減、同24.1%減）、経常利益1,543百万円（前年同四半期比411百万円減、同21.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,138百万円（前年同四半期比495百万円減、同30.3%減）となりました。

日本国内では2022年4月の償還価格の引下げによる影響で症例単価が下落し、前年同四半期比では獲得症例数が伸長したことから、売上高は8,980百万円（前年同四半期比242百万円増、同2.8%増）となりました。

米国では前年同四半期と比較し、上半期に発生したサプライチェーンの問題が改善傾向にあり、中断していた新規顧客への製品供給を順次開始し顧客基盤を拡大したことや、既存顧客向け各種拡販施策の実行により獲得症例数が増加したことにより、米国の外部顧客への売上高（USドル）は前年同四半期比4.3%増と伸長し、円換算後では円安の影響により26.8%増の6,644百万円となりました。

人工関節分野は、日本国内において償還価格の大幅な引下げが行われたものの獲得症例数が増えたこと、また米国においても売上が回復傾向にあること及び急激な円安の影響により米国売上（円換算後）が大幅に増加したことから、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比16.8%増（日本1.5%増、米国26.7%増）の10,059百万円となりました。（ご参考：前年同四半期の米国売上の換算レートは1USドル111.40円、当第3四半期は同135.41円）

骨接合材料分野は、行動制限解除に伴い症例数が増加した前年第3四半期に比較して当第3四半期は症例数が減少したものの「ASULOCK」及び「Prima Hip Screw」の売上が堅調に推移したことなどから、日本国内の売上高は前年同四半期比5.8%増の3,096百万円となりました。

脊椎固定器具分野は、日本国内においてBKP（Balloon Kyphoplasty）市場への競合他社新規参入により「KMC Kyphoplasty システム」の成長が鈍化したものの、「Pisces スパイナル システム」の売上が堅調に推移したことなどから、日本国内及び米国の売上高合計は前年同四半期比2.8%増の2,388百万円となりました。

売上原価は、円安及び日本国内における償還価格の引下げの影響などにより、売上原価率が34.1%（前年同四半期は32.1%）となりました。

販売費及び一般管理費合計は、日本国内の体制強化に伴う人件費等が増加したこと、米国売上の増加に伴い支払手数料（コミッション・ロイヤリティ）が増加したこと、また円安の影響で米国での費用（円換算後）が増加したことから全体で8,784百万円（前年同四半期比17.0%増）となり、売上高販管費率も56.2%（前年同四半期は53.7%）となりました。

営業利益は、売上高は増加したものの、円安の影響により、売上原価率が上昇したことに加えて販売費及び一般管理費の増加により、1,510百万円（前年同四半期比24.1%減）となりました。

経常利益は、為替差益61百万円、還付税金15百万円、受取保険金13百万円など営業外収益を104百万円計上し、持分法による投資損失42百万円など営業外費用を72百万円計上した結果、1,543百万円（前年同四半期比21.1%減）となりました。

特別損益は、受取補償金25百万円、事業損失引当金戻入額19百万円の44百万円を特別利益に計上し、医療工具などの固定資産除却損47百万円を特別損失に計上しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記の結果に加え前期に債務免除益306百万円を特別利益に計上したことなどから、前年同四半期比30.3%減の1,138百万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①日本

売上高は8,980百万円（前年同四半期比2.8%増）、営業利益は824百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

## ②米国

売上高は9,401百万円（前年同四半期比18.2%増）、営業利益は581百万円（前年同四半期比18.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,234百万円増加し、28,577百万円となりました。主な増加は、商品及び製品906百万円、原材料及び貯蔵品615百万円、主な減少は、現金及び預金363百万円であります。

負債合計につきましては、前連結会計年度末と比べ329百万円減少し、5,522百万円となりました。主な減少は、長期借入金352百万円であります。

また、当第3四半期連結会計期間末の有利子負債（短期借入金、長期借入金及びリース債務の合計額）から現金及び預金を控除した純有利子負債は△741百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ1,563百万円増加し、23,054百万円となりました。主な増加は、利益剰余金821百万円、為替換算調整勘定773百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年10月31日に公表いたしました「2023年3月期第2四半期連結業績予想と決算値の差異、及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,590,849	2,226,871
受取手形、売掛金及び契約資産	5,212,555	5,172,675
商品及び製品	8,186,658	9,093,420
仕掛品	497,823	569,991
原材料及び貯蔵品	1,410,927	2,026,635
その他	149,211	259,424
貸倒引当金	△1,386	△1,299
流動資産合計	18,046,638	19,347,719
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	728,450	763,852
機械装置及び運搬具(純額)	350,978	321,585
工具、器具及び備品(純額)	4,691,605	4,616,963
土地	1,953,479	1,956,061
その他	48,173	2,237
有形固定資産合計	7,772,687	7,660,701
無形固定資産	291,960	300,420
投資その他の資産		
投資有価証券	—	66,350
関係会社出資金	174,887	173,105
繰延税金資産	971,990	946,572
その他	84,558	82,344
投資その他の資産合計	1,231,435	1,268,372
固定資産合計	9,296,083	9,229,493
資産合計	27,342,722	28,577,213

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	785,671	1,077,858
短期借入金	557,046	570,452
リース債務	33,163	13,959
未払法人税等	266,440	166,051
未払費用	512,569	585,166
未払金	189,283	179,708
賞与引当金	194,015	57,200
役員賞与引当金	65,200	29,811
事業損失引当金	65,000	36,630
その他	231,291	148,769
流動負債合計	2,899,680	2,865,606
固定負債		
長期借入金	1,247,662	895,330
リース債務	10,875	5,217
退職給付に係る負債	1,023,546	1,058,589
役員株式給付引当金	88,322	97,889
資産除去債務	29,201	29,426
長期預り金	8,000	8,000
繰延税金負債	544,310	562,307
固定負債合計	2,951,919	2,656,760
負債合計	5,851,600	5,522,366
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,001,929	3,001,929
資本剰余金	2,587,029	2,587,029
利益剰余金	14,550,073	15,371,494
自己株式	△111,940	△202,730
株主資本合計	20,027,090	20,757,721
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	—	25,414
為替換算調整勘定	1,351,922	2,125,716
退職給付に係る調整累計額	7,429	17,888
その他の包括利益累計額合計	1,359,352	2,169,020
非支配株主持分	104,678	128,104
純資産合計	21,491,121	23,054,846
負債純資産合計	27,342,722	28,577,213

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	13,978,136	15,624,728
売上原価	4,480,119	5,329,281
売上総利益	9,498,017	10,295,447
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	267,635	310,492
販売促進費	76,480	102,338
広告宣伝費	49,934	59,135
給料及び手当	2,459,405	2,748,456
退職給付費用	76,658	74,973
法定福利費	223,814	238,829
福利厚生費	148,642	194,683
貸倒引当金繰入額	138	△87
旅費及び交通費	105,313	179,100
減価償却費	910,804	1,023,894
租税公課	121,700	108,599
研究開発費	352,713	458,538
支払手数料	1,743,286	2,234,312
その他	969,736	1,051,400
販売費及び一般管理費合計	7,506,265	8,784,668
営業利益	1,991,751	1,510,779
営業外収益		
受取利息	97	78
為替差益	—	61,205
受取手数料	8,862	2,844
受取保険金	—	13,220
その他	7,367	27,117
営業外収益合計	16,326	104,466
営業外費用		
支払利息	20,828	14,263
為替差損	10,883	—
持分法による投資損失	10,259	42,510
シンジケートローン手数料	5,278	6,279
その他	6,058	9,135
営業外費用合計	53,308	72,187
経常利益	1,954,769	1,543,057
特別利益		
事業損失引当金戻入額	—	19,118
受取補償金	—	25,000
債務免除益	306,751	—
特別利益合計	306,751	44,118
特別損失		
固定資産除却損	62,938	47,146
特別損失合計	62,938	47,146
税金等調整前四半期純利益	2,198,582	1,540,028
法人税、住民税及び事業税	549,808	409,537
法人税等調整額	4,390	△18,740
法人税等合計	554,198	390,797
四半期純利益	1,644,383	1,149,231
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,957	10,283
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,634,426	1,138,947

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,644,383	1,149,231
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△2,788	25,414
為替換算調整勘定	321,777	786,935
退職給付に係る調整額	11,971	10,459
その他の包括利益合計	330,961	822,809
四半期包括利益	1,975,345	1,972,041
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,959,563	1,948,615
非支配株主に係る四半期包括利益	15,781	23,425



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響)

当第3四半期連結累計期間における会計上の見積りは、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づいて合理的な金額を算出しておりますが、新型コロナウイルス感染症の今後の感染拡大や収束時期には不確実性があることから、新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済環境等が現時点の想定と乖離する場合には、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。

なお、前連結会計年度末時点の仮定から重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,738,342	5,239,793	13,978,136	—	13,978,136
外部顧客への売上高	8,738,342	5,239,793	13,978,136	—	13,978,136
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,714,404	2,714,404	△2,714,404	—
計	8,738,342	7,954,198	16,692,541	△2,714,404	13,978,136
セグメント利益	1,240,178	714,688	1,954,867	36,883	1,991,751

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去36,883千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	米国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,980,664	6,644,064	15,624,728	—	15,624,728
外部顧客への売上高	8,980,664	6,644,064	15,624,728	—	15,624,728
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	2,757,211	2,757,211	△2,757,211	—
計	8,980,664	9,401,275	18,381,940	△2,757,211	15,624,728
セグメント利益	824,611	581,461	1,406,073	104,705	1,510,779

(注)1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去104,705千円が含まれています。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

## 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称及び品目		当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	前年同四半期比
		金額(千円)	(%)
医療機器類	日本	9,160,877	102.4
	人工関節	3,446,414	101.5
	骨接合材料	3,096,144	105.8
	脊椎固定器具	2,357,900	102.4
	その他	260,418	80.6
	米国	6,644,064	126.8
	人工関節	6,613,416	126.7
	脊椎固定器具	30,647	157.2
小計(A)		15,804,941	111.4
売上控除(B)		△180,213	—
合計(A)+(B)		15,624,728	111.8

(注)セグメント間の取引については相殺消去しております。なお、前年同四半期において区分開示しておりました「日本 人工骨」は金額の重要性が低下したため、第1四半期連結累計期間より「日本 その他」に含めて開示しております。